

三代實錄、貞觀三年八月三日甲辰、越後國從五位上大神神授、從四位下、

雜事

朝野群載云、康和五年六月十日、奏龜下御體御下、略坐越後國大神神云々、社司等依過穢神事、案內崇給、遣使科中祓、可令被清奉仕事、略宮主從五位下行少祐下部宿禰兼良、中臣從五位上行權少副大中臣朝臣輔清、同云、永曆四年六月十日、奏龜下御體御下、略坐越後國大神神云々、社司等依過穢神事、崇給、遣使科中祓、可令被清奉仕事、略宮主正六位上行少祐下部宿禰兼宗、中臣從六位下行大祐大中臣朝臣惟維、

阿比多神社

阿比多是假字也○祭神奴奈川姬命、健御名方命、風土記○長濱村に在す、案內○節解云、在府中磐戸山清水阿比多川今案内に從ふ、

類社

攝津國豐島郡阿比太神社

居多神社

居多は假字也○祭神大己貴命、風土記○居田驛に在す、案內○節解云、在朝野例祭毎月九日、

三代實錄、貞觀三年八月三日甲辰、越後國從五位上居多神授、從四位下、

社領

佐多神社

佐多是假字也○祭神伊弉諾尊、伊弉冊尊、素戔鳴尊、謂劔權現、風土記○案內云、流○今町村に在す、今諏訪相殿祇園日吉と稱す、案內○節解云、在佐多郡不之峯今案内に從ふ、

類社

丹波國何鹿郡佐陀神社の條見合すべし

物部神社

物部は毛乃々倍と訓べし、和名鈔、部名物部、○祭神宇麻志麻治命、亦謂田中神宮、風土記○武士郷武士村に在す、節解、今山王權現と稱す、案內

類社

伊勢國飯高郡物部神社の條見合すべし

雜事

朝野群載云、永曆四年六月十日、奏龜下御體御下、略坐越後國物部神云々、以下前

水島磯部神社

水島磯部は美都志麻乃伊會倍と讀り○祭神譽津、別尊謂青柳明神、風土記○梨平村に在す、今鹿島明神と稱す、案內○節解云、在水島里、考證○當國古志郡桐原石部神社、三島郡御島石部神社もあり、